

Celsis Reagent 1

バージョン番号: 8.0
次のバージョンの差し替え：: 07.08.2025 (7)

発行日: 17.10.2025

項目1-化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 Celsis Reagent 1
製品番号 C93784

1.2 物質や混合物の関連性があり、特定された用途と使用しないよう勧告されている用途

関連性がある特定された用途 研究所と分析用途

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Charles River Microbial Solutions Germany GmbH
Detlev-Karsten-Rohwedder Straße 7
41564 Kaarst
ドイツ

電話番号: +49 2131 75030 30
ホームページ: www.criver.com

電子メールアドレス（資格のある者） Product_Safety_Celsis@crl.com

1.4 緊急連絡電話番号

緊急時情報提供 +49 2131 75030 30
当該番号は次の営業時間に利用可能: 月－金 09:00 - 16:00, CET (Central European Time)

項目2-危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

章	危険性クラス	区分	危険有害性クラス及び区分	危険有害性情報
3.8	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	2	STOT SE 2	H371
3.9	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	2	STOT RE 2	H373
4.1A	水生環境有害性（急性）	3	Aquatic Acute 3	H402

省略の全文：第 1 6 節を参照。

最も重要な物理化学的悪影響、人の健康と環境に対する影響及び症状

短期及び長期ばく露からの遅発及び急性影響が予想される。消火水の流出により水流汚染を引き起こすおそれ。

2.2 ラベル要素

表示

- 注意喚起語 警告

- 絵表示

GHS08



- 危険有害性情報

H371

臓器の障害のおそれ (中枢神経系)。

H373

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (中枢神経系)。

H402

水生生物に有害。

Celsis Reagent 1

バージョン番号: 8.0

発行日: 17.10.2025

次のバージョンの差し替え： 07.08.2025 (7)

- 注意書き

- P260 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P264 取扱い後はよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P308+P311 ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡する。
P314 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
P405 施錠して保管すること。
P501 内容物／容器を産業用ゴミ焼却施設に廃棄すること。

- 有害成分の表示

プロパン-1，2-ジオール【プロピレングリコール】

2.3 他の危険有害性

PBT と vPvBの評価の結果

含まれていないPBT-/vPvB-物質が≥0.1%の濃度で。

内分泌かく乱作用

内分泌かく乱化学物質（ED）を0.1%以上の濃度で含まない。

項目3-組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

分類 これらに取って重要： 製造日 > 09-2025.

物質名	特定名	Wt%	GHSに基づいた分類	絵表示
プロパン-1，2-ジオール【プロピレングリコール】	CAS-番号 57-55-6	1- <3	STOT SE 1 / H370 STOT SE 3 / H336 STOT RE 1 / H372	
N，N，N-トリメチルドデカン-1-アミニウム＝プロミド	CAS-番号 1119-94-4	<0,1	Acute Tox. 3 / H301 Skin Irrit. 2 / H315 Eye Irrit. 2 / H319 Aquatic Acute 1 / H400 Aquatic Chronic 1 / H410	

備考

省略の全文：第16節を参照

項目4-応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

犠牲者から目を離さない。犠牲者を危険区域から移動させる。犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと。汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること。疑念がある場合や症状が持続する場合には医者への診察を受けること。意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと。

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者への診察を受け、応急処置を開始すること。新鮮な空気を入れること。

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で注意深く洗うこと。疑念がある場合や症状が持続する場合には医者への診察を受けること。

目に入った場合

開眼しておき、最低10分間多量な清浄水で洗浄しておくこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。疑念がある場合や症状が持続する場合には医者への診察を受けること。

Celsis Reagent 1

バージョン番号: 8.0
次のバージョンの差し替え： 07.08.2025 (7)

発行日: 17.10.2025

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）。ただちに医者への診察を受けること。

4.2 最も重要な急性および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない。

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

データがない。

項目5-火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, 耐アルコール性泡, 粉末消火剤, 二酸化炭素 (CO₂)

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

データなし。

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NO_x), 一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO₂)

5.3 消防士に対してのアドバイス

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと。環境に適する消防対策を調整すること。消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと。汚染された防火用水を別けて回収すること。標準な警備で妥当な距離から消火活動を行うこと。

項目6-漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

皮膚接触を避けること。溶射加工品の吸入を避けること。皮膚、眼や私服の汚染を防ぐため、適切な保護道具を着用すること（安全データシートの8節に記載されている個人保護道具を含む）。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること。

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。汚染された水は確保し、廃棄すること。物質が水流や排水路に入った際は、担当の機関に連絡すること。

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）。漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材。

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること。汚染地域を換気すること。

6.4 他の節を参考に

有害性燃焼生成物：第5節を参照。個人の保護具：第8節を参照。混触危険物質：第10節を参照。廃棄上の注意：第13節を参照。

項目7-取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること。容器を密閉しておくこと。

一般的な労働衛生の手順

使用後の手洗い。作業域内での飲食と喫煙の禁止。食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し。飲食物を化

Celsis Reagent 1

バージョン番号: 8.0
次のバージョンの差し替え：: 07.08.2025 (7)

発行日: 17.10.2025

学製品と一緒に保管しないこと。通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと。食品、飲料、動物用のエサからは離して保管。

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

推奨貯蔵温度：2 - 8 °C

- 次の外部ばく露から保護すること：
熱, 霜, 光

7.3 特定の最終製品

小規模の試験研究施設での試薬用途。

項目8-ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

職場ばく露限界値（職場ばく露限界）
この情報は、入手できない。

8.2 ばく露防止

適切な工学的管理方法

一般的な排気。

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用。

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用。使用前に密封性/不浸透性を確認すること。特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する。

- その他の保護

適切な防護服と手袋、保護眼鏡/保護面を着用の事。取扱後は手をよく洗うこと。皮膚再生の為に回復期を取ること。予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する。

環境ばく露管理

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること。排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。

項目9-物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理化学的特性に関する情報

物理状態	液体
色	薄いスミレ色
臭い	独特
融点／凝固点	測定できない
沸点又は初留点及び沸点範囲	測定できない
可燃性	非該当
爆発下限界及び爆発上限界	測定できない
引火点	非該当
自然発火点	測定できない
分解温度	非該当
pH（値）	8,5 - 9

Celsis Reagent 1

バージョン番号: 8.0
次のバージョンの差し替え：: 07.08.2025 (7)

発行日: 17.10.2025

動粘性率	測定できない
------	--------

溶解度

水溶解性	あらゆる割合で混ざり合う
------	--------------

分配係数

n-オクタノール／水分配係数 (log値)	この情報は、入手できない
-----------------------	--------------

蒸気圧	測定できない
-----	--------

比重

密度	測定できない
相対ガス密度	当該特性に関する情報がない

粒子特性	非該当 (液体)
------	----------

9.2 その他の情報

物理的危険性クラスに関連するデータ	GHSに従った危険有害性クラス (物理化学的危険): 非該当
-------------------	-----------------------------------

他の安全特性

混和性	水と完全に混合可能.
-----	------------

項目10-安定性及び反応性

10.1 反応性

情報なし.

10.2 化学的安定性

通用の使用条件下では安定.

10.3 危険有害反応可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

高い温度. 光照射.

10.5 混触危険物質

この情報は、入手できない

10.6 危険有害な分解生成物

データがない. 有害性燃焼生成物：第5節を参照.

項目11-有害性情報

11.1 毒性学的影響の情報

混合物そのものについて試験データが入手できない.

GHSに基づいた分類

Celsis Reagent 1

バージョン番号: 8.0
次のバージョンの差し替え：: 07.08.2025 (7)

発行日: 17.10.2025

急性毒性
データなし.

混合物の成分の急性毒性推定値(ATE)			
物質名	CAS-番号	ばく露経路	ATE
N, N, N-トリメチルドデカン-1-アミニウム=プロミド	1119-94-4	経口	>50 mg/kg

皮膚腐食性／刺激性
データなし.

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性
データなし.

呼吸器感作性または皮膚感作性
データなし.

生殖細胞変異原性
データなし.

発がん性
データなし.

生殖毒性
データなし.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
臓器の障害のおそれ (中枢神経系).

危険有害性区分	標的臓器	ばく露経路
2	中枢神経系	ばく露がある場合

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
長期にわたる、または反復ばく露による臓器(中枢神経系)の障害のおそれ.

危険有害性区分	標的臓器	ばく露経路
2	中枢神経系	ばく露がある場合

誤えん有害性
データなし.

項目12-環境影響情報

12.1 毒性

水生生物に有害.

混合物の成分の（急性）水生毒性					
物質名	CAS-番号	エンドポイント	値	生物種	ばく露時間
プロパン-1, 2-ジオール【プロピレングリコール】	57-55-6	LC50	40.613 mg/l	ニジマス (Oncorhynchus mykiss)	9 6 h
プロパン-1, 2-ジオール【プロピレングリコール】	57-55-6	EC50	34.100 mg/l	藻類	4 8 h
N, N, N-トリメチルドデカン-1-アミニウム=プロミド	1119-94-4	ErC50	59,9 µg/l	藻類	7 2 h

Celsis Reagent 1

バージョン番号: 8.0

発行日: 17.10.2025

次のバージョンの差し替え：07.08.2025 (7)

混合物の成分の（急性）水生毒性					
物質名	CAS-番号	エンドポイント	値	生物種	ばく露時間
N, N, N-トリメチル ドデカン-1-アミ ニウム=ブロミド	1119-94-4	EC50	0,135 mg/l	ダフニア・マグナ	48 h

12.2 難分解性及び分解性

データなし。

12.3 生物蓄積性

データなし。

12.4 土壤中の移動性

データなし。

12.5 PBT と vPvBの評価の結果

含まれていないPBT-/vPvB-物質が≥0.1%の濃度で。

12.6 内分泌かく乱作用

内分泌かく乱化学物質（ED）を0.1%以上の濃度で含まない。

12.7 他の有害影響

データなし。

項目13-廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない。外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること。

包装材／容器の廃棄物処分

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること。完全に空にした容器はリサイクル可能。汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる。

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること。地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう。

項目14-輸送上の注意

14.1 国連番号

輸送規則の要件は適用されない

14.2 国連出荷名

非該当

14.3 輸送時の危険性クラス

なし

14.4 容器等級

未特定

14.5 環境有害性

危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない。

14.7 IMO 文書に基づいたばら積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない。

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

Celsis Reagent 1

バージョン番号: 8.0
次のバージョンの差し替え： 07.08.2025 (7)

発行日: 17.10.2025

国際海上危険物規則(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

項目15-適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

項目16-その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）
1.1	商品名: Reagent 1	商品名: Celsis Reagent 1
1.1	製品番号: 93784	製品番号: C93784
2.1	GHSに基づいた分類: 当該混合物は分類対象外.	GHSに基づいた分類
2.1		GHSに基づいた分類: リスト上の修正（表）
2.1		最も重要な物理化学的悪影響、人の健康と環境に対する影響及び症状: 短期及び長期ばく露からの遅発及び急性影響が予想される. 消火水の流出により水流汚染を引き起こすおそれ.
2.2	表示: 必要ない.	表示
2.2		- 注意喚起語: 警告
2.2		- 絵表示
2.2		- 絵表示: リスト上の修正（表）
2.2		- 危険有害性情報: リスト上の修正（表）
2.2		- 注意書き: リスト上の修正（表）
2.2		- 有害成分の表示: プロパン-1, 2-ジオール【プロピレングリコール】
3.2	混合物の明細: 当該製品はGHSの危険性クラスの分類に適用しない. 分類 これらに取って重要： 製造日 > 09-2025.	混合物の明細: 分類 これらに取って重要： 製造日 > 09-2025.
3.2		混合物の明細: リスト上の修正（表）
3.2		備考: 省略の全文：第16節を参照
4.1	飲み込んだ場合: 口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医師の診察を受けること.	飲み込んだ場合: 口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）. ただしに医師の診察を受けること.

Celsis Reagent 1

バージョン番号: 8.0
次のバージョンの差し替え：: 07.08.2025 (7)

発行日: 17.10.2025

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）
6.2	環境上の予防措置: 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。汚染された水は確保し、廃棄すること。	環境上の予防措置: 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。汚染された水は確保し、廃棄すること。物質が水流や排水路に入った際は、担当の機関に連絡すること。
11.1		混合物の成分の急性毒性推定値(ATE): リスト上の修正（表）
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: データなし。	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 臓器の障害のおそれ (中枢神経系)。
11.1		単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: リスト上の修正（表）
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: データなし。	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 長期にわたる、または反復ばく露による臓器(中枢神経系)の障害のおそれ。
11.1		反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: リスト上の修正（表）
12.1	毒性: データなし。	毒性: 水生生物に有害。
12.1		混合物の成分の（急性）水生毒性: リスト上の修正（表）
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）
16		関連する警句のリスト（項目2と項目3で記すコードと全文を記載）
16		関連する警句のリスト（項目2と項目3で記すコードと全文を記載）: リスト上の修正（表）

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
Acute Tox.	急性毒性
Aquatic Acute	水生環境有害性（急性）
Aquatic Chronic	水生環境有害性（長期間）
ATE	Acute Toxicity Estimate（急性毒性推定値）
CAS	化学情報検索サービス機関（公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関）
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
EC50	半数影響濃度。EC50とは試験した物質の濃度の反応（例えば成長）が一定した期間内に50% 変化することを指す
ED	内分泌かく乱物質
ErC50	≒EC50: 当方法では被験物質と比較し、濃度の成長 (EbC50) または成長率 (ErC50) が50 %に減少させる物質の濃度をいう
Eye Dam.	眼の重篤な損傷
Eye Irrit.	眼刺激性
GHS	国連によって考案された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則

Celsis Reagent 1

バージョン番号: 8.0
次のバージョンの差し替え：: 07.08.2025 (7)

発行日: 17.10.2025

略	使用した略語の説明
LC50	半数致死濃度：LC50とは、試験された物質にばく露された生物の50%が一定期間内に死亡する濃度のことをいう
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
Skin Corr.	皮膚腐食性
Skin Irrit.	皮膚刺激性
STOT RE	特定標的臓器毒性（反復ばく露）
STOT SE	特定標的臓器毒性（単回ばく露）
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

GHSに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（SDS）- 日本工業規格. JIS Z7253.
国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

関連する警句のリスト（項目2 と項目3 で記すコードと全文を記載）

コード	文
H301	飲み込むと有毒.
H315	皮膚刺激.
H319	強い眼刺激.
H336	眠気又はめまいのおそれ.
H370	臓器の障害 (中枢神経系).
H371	臓器の障害のおそれ (中枢神経系).
H372	長期にわたる，又は反復ばく露による臓器の障害 (中枢神経系).
H373	長期にわたる，又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (中枢神経系).
H400	水生生物に非常に強い毒性.
H402	水生生物に有害.
H410	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性.

免責

現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.

Reagent 2

バージョン番号: 6.0
次のバージョンの差し替え： 23.09.2022 (5)

発行日: 16.11.2023

項目1-化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名	Reagent 2
製品番号	93792

1.2 物質や混合物の関連性があり、特定された用途と使用しないよう勧告されている用途

関連性がある特定された用途	研究所と分析用途
---------------	----------

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Charles River Microbial Solutions Germany GmbH
Detlev-Karsten-Rohwedder Straße 7
41564 Kaarst
ドイツ

電話番号: +49 2131 75030 30
ホームページ: www.criver.com

電子メールアドレス（資格のある者）	Product_Safety_Celsis@crl.com
-------------------	-------------------------------

1.4 緊急連絡電話番号

緊急時情報提供	+49 2131 75030 30 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月－金 09:00 - 16:00, CET (Central European Time)
---------	---

項目2-危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

章	危険性クラス	区分	危険有害性クラス及び区分	危険有害性情報
3.3	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	2	Eye Irrit. 2	H319
4.1A	水生環境有害性（急性）	3	Aquatic Acute 3	H402

省略の全文：第16節を参照。

最も重要な物理化学的悪影響、人の健康と環境に対する影響及び症状
消火水の流出により水流汚染を引き起こすおそれ。

2.2 ラベル要素

表示

- 注意喚起語	警告
---------	----

- 絵表示	
-------	--

GHS07



- 危険有害性情報	
-----------	--

H319

強い眼刺激。

H402

水生生物に有害。

Reagent 2

バージョン番号: 6.0
次のバージョンの差し替え： 23.09.2022 (5)

発行日: 16.11.2023

- 注意書き

- P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当を受けること。
P501 内容物/容器を産業用ゴミ焼却施設に廃棄すること。

2.3 他の危険有害性

PBT と vPvB の評価の結果

含まれていないPBT-/vPvB-物質が $\geq 0.1\%$ の濃度で。

内分泌かく乱作用

内分泌かく乱化学物質（ED）を 0.1% 以上の濃度で含まない。



項目3-組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

物質名	特定名	Wt%	GHSに基づいた分類	絵表示
citric acid	CAS-番号 77-92-9	10 - < 25	Eye Irrit. 2 / H319 STOT SE 3 / H335	
N, N, N-トリメチルドデカン -1-アミニウム=プロミド	CAS-番号 1119-94-4	< 0,1	Acute Tox. 3 / H301 Skin Irrit. 2 / H315 Eye Irrit. 2 / H319 Aquatic Acute 1 / H400 Aquatic Chronic 1 / H410	

省略の全文：第16節を参照。

項目4-応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

犠牲者から目を離さない。犠牲者を危険区域から移動させる。犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと。汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること。疑念がある場合や症状が持続する場合には医者への診察を受けること。意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと。

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者への診察を受け、応急処置を開始すること。新鮮な空気を入れること。

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で注意深く洗うこと。医師に連絡すること。

目に入った場合

開眼しておき、最低10分間多量な清浄水で洗浄しておくこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。ただちに医者への診察を受けること。

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）。ただちに医者への診察を受けること。

4.2 最も重要な急性および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない。

Reagent 2

バージョン番号: 6.0
次のバージョンの差し替え： 23.09.2022 (5)

発行日: 16.11.2023

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

データがない.

項目5-火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤
水噴霧, 耐アルコール性泡, 粉末消火剤, 二酸化炭素 (CO₂)

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

データなし.

有害燃焼生成物
一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO₂)

5.3 消防士に対してのアドバイス

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと。環境に適する消防対策を調整すること。消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと。汚染された防火用水を別けて回収すること。標準な警備で妥当な距離から消火活動を行うこと。

項目6-漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

皮膚接触を避けること。溶射加工品の吸入を避けること。皮膚、眼や私服の汚染を防ぐため、適切な保護道具を着用すること（安全データシートの8節に記載されている個人保護道具を含む）。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること。

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。汚染された水は確保し、廃棄すること。物質が水流や排水路に入った際は、担当の機関に連絡すること。

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言
下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言
吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）。漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術
吸着材.

流出と放出などについての他の事柄
適切な容器にて処分すること。汚染地域を換気すること。

6.4 他の節を参考に

有害性燃焼生成物：第5節を参照。個人の保護具：第8節を参照。混触危険物質：第10節を参照。廃棄上の注意：第13節を参照。

項目7-取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

- 勧告
- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策
局所及び全体換気を使用すること。容器を密閉しておくこと。
 - 混触危険性物質または混合物の取扱い
 - 次の物質から遠ざけること：
苛性溶液

Reagent 2

バージョン番号: 6.0
次のバージョンの差し替え： 23.09.2022 (5)

発行日: 16.11.2023

一般的な労働衛生の手順

使用後の手洗い. 作業域内での飲食と喫煙の禁止. 食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し. 飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと. 通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと. 食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

推奨貯蔵温度： >2 °C

- 次の外部ばく露から保護すること：
熱, 霜, 光

7.3 特定の最終製品

小規模の試験研究施設での試薬用途.

項目8-ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

職場ばく露限界値（職場ばく露限界）
この情報は、入手できない.

8.2 ばく露防止

適切な工学的管理方法
一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

適切な防護服と手袋、保護眼鏡/保護面を着用の事. 取扱後は手をよく洗うこと. 皮膚再生の為に回復期をとること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム/軟膏）を推奨する.

環境ばく露管理

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

項目9-物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理化学的特性に関する情報

物理状態	液体
色	無色の
臭い	独特
融点／凝固点	測定できない
沸点又は初留点及び沸点範囲	測定できない
可燃性	非該当
爆発下限界及び爆発上限界	測定できない
引火点	測定できない

Reagent 2

バージョン番号: 6.0
次のバージョンの差し替え：: 23.09.2022 (5)

発行日: 16.11.2023

自然発火点	測定できない
分解温度	非該当
pH (値)	<2 (酸)
動粘性率	測定できない

溶解度

水溶解性	あらゆる割合で混ざり合う
------	--------------

分配係数

n-オクタノール／水分配係数 (log値)	この情報は、入手できない
-----------------------	--------------

蒸気圧	測定できない
-----	--------

比重

密度	測定できない
相対ガス密度	当該特性に関する情報がない

粒子特性	非該当 (液体)
------	----------

9.2 その他の情報

物理的危険性クラスに関連するデータ	GHSに従った危険有害性クラス (物理化学的危険): 非該当
-------------------	-----------------------------------

他の安全特性

混和性	水と完全に混合可能.
-----	------------

項目10-安定性及び反応性

10.1 反応性

情報なし.

10.2 化学的安定性

通用の使用条件下では安定.

10.3 危険有害反応可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

高い温度. 光照射.

10.5 混触危険物質

この情報は、入手できない

10.6 危険有害な分解生成物

データがない. 有害性燃焼生成物：第5節を参照.

Reagent 2

バージョン番号: 6.0
次のバージョンの差し替え： 23.09.2022 (5)

発行日: 16.11.2023

項目11-有害性情報

11.1 毒性学的影響の情報

混合物そのものについて試験データが入手できない。

GHSに基づいた分類

急性毒性

データなし。

混合物の成分の急性毒性推定値(ATE)

物質名	CAS-番号	ばく露経路	ATE
N, N, N-トリメチルドデカン-1-アミニウム=プロミド	1119-94-4	経口	>50 mg/kg

皮膚腐食性／刺激性

データなし。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

強い眼刺激。

呼吸器感作性または皮膚感作性

データなし。

生殖細胞変異原性

データなし。

発がん性

データなし。

生殖毒性

データなし。

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

データなし。

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性

データなし。

誤えん有害性

データなし。

項目12-環境影響情報

12.1 毒性

水生生物に有害。

混合物の成分の（急性）水生毒性

物質名	CAS-番号	エンドポイント	値	生物種	ばく露時間
N, N, N-トリメチルドデカン-1-アミニウム=プロミド	1119-94-4	EC50	0,135 mg/l	水生無脊椎動物	4 8 h
N, N, N-トリメチルドデカン-1-アミニウム=プロミド	1119-94-4	ErC50	59,9 µg/l	藻類	7 2 h

12.2 難分解性及び分解性

データなし。

Reagent 2

バージョン番号: 6.0
次のバージョンの差し替え： 23.09.2022 (5)

発行日: 16.11.2023

12.3 生物蓄積性

データなし.

12.4 土壤中の移動性

データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果

含まれていないPBT-/vPvB-物質が $\geq 0.1\%$ の濃度で.

12.6 内分泌かく乱作用

内分泌かく乱化学物質 (ED) を 0.1% 以上の濃度で含まない.

12.7 他の有害影響

データなし.

項目13-廃棄上の注意**13.1 廃棄物処理方法**

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと. 取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

項目14-輸送上の注意

14.1	国連番号	輸送規則の要件は適用されない
14.2	国連出荷名	非該当
14.3	輸送時の危険性クラス	なし
14.4	容器等級	未特定
14.5	環境有害性	危険物規則に基づいて環境有害性ではない
14.6	使用者のための特別予防措置	追加情報がない.
14.7	IMO 文書に基づいたバラ積み輸送	荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること**輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)**

輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

国際海上危険物規則(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

Reagent 2

バージョン番号: 6.0
次のバージョンの差し替え： 23.09.2022 (5)

発行日: 16.11.2023

項目15-適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない。

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない。

項目16-その他の情報

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
Acute Tox.	急性毒性
Aquatic Acute	水生環境有害性（急性）
Aquatic Chronic	水生環境有害性（長期間）
ATE	Acute Toxicity Estimate（急性毒性推定値）
CAS	化学情報検索サービス機関（公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関）
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
EC50	半数影響濃度。EC50とは試験した物質の濃度の反応（例えば成長）が一定した期間内に50% 変化することを指す
ED	内分泌かく乱物質
ErC50	≒EC50: 当方法では被験物質と比較し、濃度の成長（EbC50）または成長率（ErC50）が50 %に減少させる物質の濃度をいう
Eye Dam.	眼の重篤な損傷
Eye Irrit.	眼刺激性
GHS	国連によって考案された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会（IATA）に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
Skin Corr.	皮膚腐食性
Skin Irrit.	皮膚刺激性
STOT SE	特定標的臓器毒性（単回ばく露）
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

GHSに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

Reagent 2

バージョン番号: 6.0
次のバージョンの差し替え： 23.09.2022 (5)

発行日: 16.11.2023

関連する警句のリスト（項目2 と項目3 で記すコードと全文を記載）

コード	文
H301	飲み込むと有毒.
H315	皮膚刺激.
H319	強い眼刺激.
H335	呼吸器への刺激のおそれ.
H400	水生生物に非常に強い毒性.
H402	水生生物に有害.
H410	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性.

免責

現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のためのためにまとめられた.

Reagent 3

バージョン番号: 6.0
次のバージョンの差し替え：: 23.09.2022 (5)

発行日: 16.11.2023

項目1-化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 Reagent 3
製品番号 93800

1.2 物質や混合物の関連性があり、特定された用途と使用しないよう勧告されている用途

関連性がある特定された用途 研究所と分析用途

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Charles River Microbial Solutions Germany GmbH
Detlev-Karsten-Rohwedder Straße 7
41564 Kaarst
ドイツ

電話番号: +49 2131 75030 30
ホームページ: www.criver.com

電子メールアドレス（資格のある者） Product_Safety_Celsis@crl.com

1.4 緊急連絡電話番号

緊急時情報提供 +49 2131 75030 30
当該番号は次の営業時間に利用可能: 月－金 09:00 - 16:00, CET (Central European Time)

項目2-危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類
当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示
必要ない.

2.3 他の危険有害性

PBT と vPvBの評価の結果
含まれていないPBT-/vPvB-物質が $\geq 0.1\%$ の濃度で.
内分泌かく乱作用
内分泌かく乱化学物質 (ED) を 0.1% 以上の濃度で含まない.

項目3-組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細
当該製品はGHSの危険性クラスの分類に適用しない.

Reagent 3

バージョン番号: 6.0
次のバージョンの差し替え： 23.09.2022 (5)

発行日: 16.11.2023

項目4-応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

犠牲者から目を離さない。犠牲者を危険区域から移動させる。犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと。汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること。疑念がある場合や症状が持続する場合には医者診察を受けること。意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと。

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者診察を受け、応急処置を開始すること。新鮮な空気を入れること。

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で注意深く洗うこと。疑念がある場合や症状が持続する場合には医者診察を受けること。

目に入った場合

開眼しておき、最低10分間多量な清浄水で洗浄しておくこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。疑念がある場合や症状が持続する場合には医者診察を受けること。

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）。疑念がある場合や症状が持続する場合には医者診察を受けること。

4.2 最も重要な急性および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない。

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

データがない。

項目5-火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧、粉末消火剤、二酸化炭素 (CO₂)

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

データなし。

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NO_x)、一酸化炭素 (CO)、二酸化炭素 (CO₂)

5.3 消防士に対してのアドバイス

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと。環境に適する消防対策を調整すること。消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと。汚染された防火用水を別けて回収すること。標準な警備で妥当な距離から消火活動を行うこと。

項目6-漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

皮膚接触を避けること。溶射加工品の吸入を避けること。皮膚、眼や私服の汚染を防ぐため、適切な保護道具を着用すること（安全データシートの8節に記載されている個人保護道具を含む）。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること。

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。汚染された水は確保し、廃棄すること。

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）。漏出物を回収すること：おがくず、珪藻土、砂、万能バインダー

Reagent 3

バージョン番号: 6.0
次のバージョンの差し替え： 23.09.2022 (5)

発行日: 16.11.2023

適切な封じ込め技術
吸着材。

流出と放出などについての他の事柄
適切な容器にて処分すること。汚染地域を換気すること。

6.4 他の節を参考に

有害性燃焼生成物：第 5 節を参照。個人の保護具：第 8 節を参照。混触危険物質：第 10 節を参照。廃棄上の注意：第 13 節を参照。

項目7-取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策
局所及び全体換気を使用すること。容器を密閉しておくこと。

一般的な労働衛生の手順

使用後の手洗い。作業域内での飲食と喫煙の禁止。食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し。飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと。通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと。食品、飲料、動物用のエサからは離して保管。

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

推奨貯蔵温度：>2 °C

- 次の外部ばく露から保護すること：
熱, 霜, 光

7.3 特定の最終製品

小規模の試験研究施設での試薬用途。

項目8-ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

職場ばく露限界値（職場ばく露限界）
この情報は、入手できない。

8.2 ばく露防止

適切な工学的管理方法
一般的な排気。

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用。

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用。使用前に密封性/不浸透性を確認すること。特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する。

- その他の保護

適切な防護服と手袋、保護眼鏡/保護面を着用の事。取扱後は手をよく洗うこと。皮膚再生の為に回復期を取る。予防用の皮膚保護（バリアクリーム/軟膏）を推奨する。

環境ばく露管理

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること。排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。

Reagent 3

バージョン番号: 6.0
次のバージョンの差し替え：: 23.09.2022 (5)

発行日: 16.11.2023

項目9-物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理化学的特性に関する情報

物理状態	液体
色	無色の
臭い	独特
融点／凝固点	測定できない
沸点又は初留点及び沸点範囲	測定できない
可燃性	非該当
爆発下限界及び爆発上限界	測定できない
引火点	測定できない
自然発火点	測定できない
分解温度	非該当
pH (値)	9,5 – 10,75
動粘性率	測定できない
溶解度	測定できない

分配係数

n-オクタノール／水分配係数 (log値)	この情報は、入手できない
-----------------------	--------------

蒸気圧	測定できない
-----	--------

比重

密度	測定できない
相対ガス密度	当該特性に関する情報がない

粒子特性	非該当 (液体)
------	----------

9.2 その他の情報

物理的危険性クラスに関連するデータ	GHSに従った危険有害性クラス (物理化学的危険): 非該当
他の安全特性	追加情報がない

Reagent 3

バージョン番号: 6.0
次のバージョンの差し替え： 23.09.2022 (5)

発行日: 16.11.2023

項目10-安定性及び反応性

10.1 反応性

情報なし.

10.2 化学的安定性

通用の使用条件下では安定.

10.3 危険有害反応可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

高い温度. 光照射.

10.5 混触危険物質

この情報は、入手できない

10.6 危険有害な分解生成物

データがない. 有害性燃焼生成物：第5節を参照.

項目11-有害性情報

11.1 毒性学的影響の情報

混合物そのものについて試験データが入手できない.

GHSに基づいた分類

急性毒性

データなし.

皮膚腐食性／刺激性

データなし.

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

データなし.

呼吸器感作性または皮膚感作性

データなし.

生殖細胞変異原性

データなし.

発がん性

データなし.

生殖毒性

データなし.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

データなし.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性

データなし.

誤えん有害性

データなし.

Reagent 3

バージョン番号: 6.0
次のバージョンの差し替え： 23.09.2022 (5)

発行日: 16.11.2023

項目12-環境影響情報

- 12.1 毒性**
データなし.
- 12.2 難分解性及び分解性**
データなし.
- 12.3 生物蓄積性**
データなし.
- 12.4 土壤中の移動性**
データなし.
- 12.5 PBT と vPvBの評価の結果**
含まれていないPBT-/vPvB-物質が $\geq 0.1\%$ の濃度で.
- 12.6 内分泌かく乱作用**
内分泌かく乱化学物質 (ED) を 0.1% 以上の濃度で含まない.
- 12.7 他の有害影響**
データなし.

項目13-廃棄上の注意

- 13.1 廃棄物処理方法**
下水処理に関連する情報
排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと. 取扱説明書を閲覧すること.
包装材料／容器の廃棄物処分
環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.
- 備考**
国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

項目14-輸送上の注意

- | | |
|-------------------------------|---------------------|
| 14.1 国連番号 | 輸送規則の要件は適用されない |
| 14.2 国連出荷名 | 非該当 |
| 14.3 輸送時の危険性クラス | なし |
| 14.4 容器等級 | 未特定 |
| 14.5 環境有害性 | 危険物規則に基づいて環境有害性ではない |
| 14.6 使用者のための特別予防措置 | 追加情報がない. |
| 14.7 IMO 文書に基づいたばら積み輸送 | 荷はバラ積み輸送に適していない. |

国連モデル規則による情報を提供すること
輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)
輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

Reagent 3

バージョン番号: 6.0
次のバージョンの差し替え：23.09.2022 (5)

発行日: 16.11.2023

国際海上危険物規則(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

項目15-適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

項目16-その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）
1	第1節：化学品及び会社情報	項目1-化学品及び会社情報
1.4	緊急電話番号	緊急連絡電話番号
2	第2節：危険有害性の要約	項目2-危険有害性の要約
2.3	他の危険有害性: 追加情報がない.	他の危険有害性
2.3		PBT と vPvBの評価の結果: 含まれていないPBT-/vPvB-物質が $\geq 0.1\%$ の濃度で.
2.3		内分泌かく乱作用: 内分泌かく乱化学物質（ED）を 0.1% 以上の濃度で含まない.
3	第3節：組成及び成分情報	項目3-組成及び成分情報
3.2	混合物の明細	混合物の明細: 当該製品はGHSの危険性クラス分類に適用しない.
3.2		混合物の明細: リスト上の修正（表）
4	第4節：応急措置	項目4-応急措置
4.2	急性、及び遅延性の最も重要な症状と影響	最も重要な急性および遅発症状と影響
5	第5節：火災時の措置	項目5-火災時の措置
6	第6節：漏出時の措置	項目6-漏出時の措置
6.4	他の節を参考に: 有害性燃焼生成物：第5節を参照. 個人の保護具：第8節を参照. 混触禁止物質：第10節を参照. 廃棄上の注意：第13節を参照.	他の節を参考に: 有害性燃焼生成物：第5節を参照. 個人の保護具：第8節を参照. 混触危険物質：第10節を参照. 廃棄上の注意：第13節を参照.
7	第7節：取扱い及び保管上の注意	項目7-取扱い及び保管上の注意
7.3	特定の最終製品: Use as laboratory reagent.	特定の最終製品: 小規模の試験研究施設での試薬用途.
8	第8節：ばく露防止及び保護措置	項目8-ばく露防止及び保護措置
8.2	ばく露制御	ばく露防止
9	第9節：物理的及び化学的性質	項目9-物理的及び化学的性質
9.1	外観	

Reagent 3

バージョン番号: 6.0
次のバージョンの差し替え：23.09.2022 (5)

発行日: 16.11.2023

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）
9.1	物理的性状	物理状態
9.1	臭気	臭い
9.1	その他、安全性評価基準	
9.1	初留点と沸点範囲	沸点又は初留点及び沸点範囲
9.1	爆発限界	爆発下限界及び爆発上限界
9.1	蒸発速度: 測定できない	
9.1		分解温度: 非該当
9.1		動粘性率: 測定できない
9.1	溶解性	溶解度
9.1	- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	n-オクタノール／水分配係数 (log 値)
9.1		比重
9.1	蒸気密度: この情報は、入手できない	
9.1	粘度: 測定できない	
9.1	爆発性: 測定できない	
9.1	酸性: 測定できない	
9.1	比重	相対ガス密度
9.2	その他の情報: 追加情報がない。	その他の情報
9.2		物理的危険性クラスに関連するデータ: GHSに従った危険有害性クラス (物理化学的危険): 非該当
9.2		他の安全特性: 追加情報がない
10	第 1 0 節：安定性及び反応性	項目10-安定性及び反応性
10.3	有害反応の可能性	危険有害反応可能性
10.5	不適合材料: 強酸化性物質	混触危険物質: この情報は、入手できない
10.6	有害な分解生成物	危険有害な分解生成物
11	第 1 1 節：毒性学的情報	項目11-有害性情報
11.1		混合物の成分の急性毒性推定値(ATE): リスト上の修正（表）
11.1	吸引性呼吸器有害性	誤えん有害性
12	第 1 2 節：環境影響情報	項目12-環境影響情報
12.4	土壤中の移動度	土壤中の移動性
12.5	PBT と vPvBの評価の結果: データなし。	PBT と vPvBの評価の結果: 含まれていないPBT-/vPvB-物質が≥0.1%の濃度で。

Reagent 3

バージョン番号: 6.0
次のバージョンの差し替え：: 23.09.2022 (5)

発行日: 16.11.2023

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）
12.6	他の有害影響: データなし.	内分泌かく乱作用: 内分泌かく乱化学物質（ED）を0.1%以上の濃度で含まない.
13	第 1 3 節：廃棄上の注意	項目13-廃棄上の注意
13.1	廃棄物についての法規	
13.1	廃棄物の表: 未特定	
14	第 1 4 節：輸送上の注意	項目14-輸送上の注意
14.3	輸送時の危険性クラス	輸送時の危険性クラス: なし
14.3	クラス: -	
14.4	容器等級: 非該当	容器等級: 未特定
14.7	MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送	IMO 文書に基づいたばら積み輸送
14.7	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)	輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG): 輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG
14.7	少量危険物 (LQ): (UN RTDG)	
14.7	国際海上危険物規則(IMDG)	国際海上危険物規則(IMDG) - 追加情報
14.7	国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR)	国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報
15	第 1 5 節：適用法令	項目15-適用法令
16	第 1 6 節：その他の情報	項目16-その他の情報
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）
16	関連する警句のリスト（項目2 と項目3 で記すコードと全文を記載）	
16		関連する警句のリスト（項目2 と項目3 で記すコードと全文を記載）: リスト上の修正（表）

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
ED	内分泌かく乱物質
GHS	国連によって考案された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

Reagent 3

バージョン番号: 6.0
次のバージョンの差し替え： 23.09.2022 (5)

発行日: 16.11.2023

参考文献とデータ源

GHSに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

免責

現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のためのためにまとめられた.